

1. 件名：取替炉心の安全性評価に用いる解析コードに関する民間規格策定の状況報告について

2. 日時：令和2年6月4日 13時00分～14時00分

3. 場所：原子力規制庁、原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）  
ほか（テレビ会議システムにより実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部検査グループ

実用炉監視部門 小野上級原子炉解析専門官、鈴木調整係長、東原子力規制専門員

ATENA 副長 1名

東京電力ホールディングス 原子力運営管理部 燃料管理グループ  
チームリーダー 1名

関西電力株式会社 原子力発電部門 燃料保全グループ  
チーフマネジャー 1名

一般社団法人日本電気協会 原子力規格委員会 原子燃料分科会  
幹事 他4名

5. 要旨

(1) ATENA、東京電力、関西電力及び日本電気協会から、取替炉心の安全性評価に用いる解析コードの妥当性を確認するために必要な技術的要件とその運用管理方法を定めた民間規格の策定状況及び今後のスケジュールについて、提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁より、原子力規制検査における炉心管理（取替炉心の安全性）検査ガイド改訂の検討のうち、検査官による解析コードの妥当性の確認の視点について、当該規格の策定状況等も参照しつつ引き続き議論していく旨回答した。

6. 提出資料

資料1：取替炉心の安全性解析評価プログラムに関する規程（仮称）規程案策定の状況報告

以上